

奨学金基金&寄付金

企業の皆様

ANDO CHIROPRACTIC, LLC  
NOMURA AMERICA FOUNDATION

1/10/2018～3/31/2018

皆様のご支援に心より感謝を申し上げます

全てのご寄付は米国での税控除の対象となります。  
All contribution is tax deductible. 501(c)(3)organization

本学園ホームページ [APANESEESCHOOL.ORG](http://APANESEESCHOOL.ORG) から  
PayPal をご利用できます。

奨学金基金&寄付金

個人の皆様

ANONYMOUS  
MR. NOZAKI, TOSHIRO  
MS. LINDSAY, EMIKO A

学園グッズ&カレンダー

MS. BELL, HIROKO  
MS. HOSHINO, MAMIKO  
MR. HYUGA, SHUNSAKE  
MR. ISHIHARA, MASAKAZU  
MR. KAGAMI, TAKAHIRO  
MS. KIMURA, AKIKO  
MS. KIMURA, HIKARI  
MS. KOBAYASHI, MIYUKI  
MS. TOKIWA, MAKOTO

様々な学園グッズがございます。  
お問い合わせは各事務局まで。



お問い合わせ/ファンドレイジング担当: 半場 綾子

ニューヨーク育英学園 夏期英語教授法研修ツアー

研修ツアー概要

NY 育英学園では、日本の教育関係者を対象とした夏期英語教授法研修ツアーを開始します。ニュージャージーキャンパス全日制の幼児部と小学部とでそれぞれ実施し日々進化を続けている独自の英語カリキュラムを軸とし、子ども達の保育・学習の様子も参観頂きながらの研修です。また、最終日にはバイリンガル教育を専門とする米大学教授を招いての講演会があり、研修終了時には修了証書もお渡しいたします。



～今号の目次～

P.1 学園長よりご挨拶  
全日制ファミリー同窓会のご案内

P.2 NJ キャンパス全日制部門からのお知らせ

P.3 NJ キャンパス全日制英語科からのお知らせ

P.4-5 アフター活動特集  
・NJ キャンパスの取り組み  
・フレンズアカデミーの取り組み

P.6-7 JCS のご案内  
2018 年度 NY 育英学園オープンハウスのお知らせ  
(NJ キャンパス全日制&フレンズアカデミー)

P.8 きりんのへや こども園のお知らせ

P.9 NY 育英学園全部門「運動会」紹介

P.10 第6回アメリカサマー留学のお知らせ  
2017 年度育英スキーのご報告

P.11 シリーズ「先輩から一言」(卒業生保護者様より)  
シリーズ「NY 育英学園職員ペンリレー」

P.12 NY 育英学園ファンドレイジング報告  
NY 育英学園夏期英語教授法研修ツアーのお知らせ  
4コマ漫画 (作: コマタキレコ)

|          |                                                         |
|----------|---------------------------------------------------------|
| 8月14日(火) | 日本発 ※日本国内移動が必要ある場合はこの日までに東京移動。                          |
| 8月14日(火) | ニューヨーク到着後、日程や交通機関の確認。(滞在ホテルにて)                          |
| 研修1日目    | 朝食後、ホテル近くのポイントからスクールバスへ乗車。<br>(参加人数によりチャーターバンになる可能性あり。) |
| 8月15日(水) | 研修2日目                                                   |
| 8月16日(木) | 研修3日目                                                   |
| 8月17日(金) | 研修4日目                                                   |
| 8月18日(土) | 8月19日(日)                                                |

NY学園物語

「アメリカでも!ラジオ体操」

Radio-Taiso Exercise in the U.S.

はじめまして! ② はじめまして!  
日本からの転校生だねよろしく!

③ 今からみんなでラジオ体操するよ! 知ってる?

①Hello! Nice to meet you.  
②Hi! Nice to meet you, too.  
You just came from Japan, right?

もちろん知ってるよ! ④  
アメリカでもやるんだ!  
知らなかった! ⑤ 学園のみんなはラジオ体操やるよ!

⑥ Of course!  
I didn't know you're doing it in the U.S., too!  
⑦We all do the Radio-Taiso at our school.  
⑧Really!?

みんなカンベキに体操してる!

⑨They're all doing it in the right way!  
⑩One. ⑪Two. ⑫Three.  
⑬Four.

⑬お父さん  
お母さん達まで!

⑭音楽を聴くと勝手に体が動いちゃうよ~!

⑮アメリカでも人気だなんて! すごーい!

⑯When I listen to the music, my body starts moving automatically.  
⑰Wow! All of the parents are doing it, too.  
⑱It's amazing that it's also very popular in the U.S.!

BY コマタキレコ (KIREKOKOMATA)

詳細は本学園 HP で  
ご覧いただけます。

NY 育英メルマガ 毎月配信中!

SPRING 2018

39th Anniversary

1979 ニューヨーク育英学園 2018

発行: JAPANESE CHILDREN'S SOCIETY  
8 WEST BAYVIEW AVENUE, ENGLEWOOD CLIFFS, NJ 07632  
HP: [www.JapaneseSchool.org](http://www.JapaneseSchool.org) ☎(201)947-4832 ✉Info.nyikuei@gmail.com

一 圧巻のニューヨーク育英学園各式典一

去る3月末に行われた卒園式・卒業式は、涙涙の感動的な心温まる式でした。幼い子ども達にも一生忘れないものになったと思われる。特に全日制小学部卒業式では、1年生から6年生までの全員が泣くという稀にみる感動的な式になりました。例年、卒業式の会場にある椅子の下にティッシュペーパーの箱を忍ばせておくのですが、1列目からオイオイと嗚咽する子達なので、渡すのも憚られるパニック状態になってしまいました。もちろん保護者席は父母の涙顔で埋まっています。来賓の方々にとっては初めての風景であったにも関わらず、皆さん、式の感動を共有してくださいました。普通、卒業生が泣いても、小学1・2年生等では送る言葉の中で泣き顔になるものではないのですが、今回の卒業式はいつもより感情の盛り上がりが大きかったと思われます。それだけ、6年生とその他の学年の結びつきが強かったのでしょう。式場の壁には卒業生7名の顔を在校生全員が1枚1枚描いたポートレートが飾られていました。それがまた見事な作品群で、熱のこもった力作ぞろいでした。これらを綴じた作品集をもらえる卒業生は幸せです。小学生の時しか描けない色づかい、タッチで、各卒業生のポートレートを画集として発表したら、さぞいいものができるのではと思われます。兎に角、幼児部、小学部とも素晴らしい式典となりました。

そして、第1学期のスタートには入園式、入学式と、又多くの幸せな笑顔が見られました。玄関で練り広げられる家族写真の撮り合いという微笑ましい親子の姿がありました。日本人の心にはどの式典・儀式も厳粛な人生の節目としてあります。大切な区切りでもあり、大切なアルバムの一ページとなります。当地アメリカの現地校での式典の雰囲気は大幅違います。9月の入学に関しては、ほとんど式は行われませんので、現地校が初めての場合は、その違いに戸惑う方も多いかと思われる。4月に始まり3月に終わるという世界的に見れば別格的な年間カレンダーを持つのが日本の学校です。草花の芽生える春を始まりとする考えは日本的で良いのですが、これだけ国際化した「今の時代に合っているのか」「これからもこのままで行けるのか」と問われると難しいところです。国として考える必要があるでしょう。

NY 育英学園では始業式・終業式の他にも移動教室やスキーキャンプなどの際に出発式や帰着式を行っています。日本の学校同様、行事ごとに各ディレクターや私のスピーチが多いのですが、決して無駄なものはありません。ピリッとした気持ちをもち続ける事は難しいですが、気を引き締める為のスイッチ的な役目があります。日本人の血の中に脈々とその節目を重んじる思いは生き続けていると思われる。

一 8 / 4 は同窓会 in Tokyo一

3年に一度の日本での全日制部門同窓会が、今回も代々木のオリンピック村にて行われます。「子どもは忙しいので、私、母だけが来ました」と言う人が結構多いのです。昔の担任の先生やクラスメートの保護者達に会えるからかも・・・と保護者のみ参加があるのもこの学園ならではの同窓会です。最近帰国したご家族から30年前の園児まで、もう2部制にしないとイケないかなアと思う位の人数になってきました。司会は幼児部ベテラン現役保育者のまり先生、受付は元小学部主任の犬守先生等、懐かしい元職員も集まります。子ども達に限らず私達大人にとっても興奮の再会があります。元4歳児、5歳児の園児が、父親・母親となって、子持ちで参加してくれるとこちらも帰国した甲斐があります。立派なビジネスパーソンになっているいたり素晴らしいファミリーを持っていたりと、頑張っている姿を見るにつけ、海外で育った子達は逞しいなアとしみじみ思います。長い人生です。皆さん、元気に一步一步進んでくれればそれで良いと私も感じる域に達してきました。

日時: 2018年 8月 4日(土) 午後1時30分~4時(受付開始 午後1時より)  
会場: 「国立オリンピック記念青少年総合センター」センター棟 101号室  
お申し込み先: [dosokai.zennichi.nyikuei@gmail.com](mailto:dosokai.zennichi.nyikuei@gmail.com)



## 直接体験の重要性

体験活動とは、自分の身体を通して実際に経験する活動のことで、子ども達が身体全体で対象に働きかけ、関わっていく活動のことです。この中には、「直接体験」、「間接体験」、「擬似体験」があります。しかし今、子ども達の生活体験、社会体験、自然体験などが不足し、「間接体験」や「擬似体験」の機会が圧倒的に多くなっています。学習意欲の低下やねばり強く課題に取り組むことが難しくなっていたり、自分に自信が持てず、将来や人間関係に不安を感じたりする現状があり、体験活動の充実が大きな教育課題となっています。子どもは、身近な存在である友達や地域社会などと関わり合い、様々な体験を通して、自己と向き合い、人間関係能力や社会性などを身に付け成長します。今後の教育において重視されなければならないのは、ヒト・モノや実社会に実際に触れ、五感を通じて何かを感じ、学ぶ取り組みとなる「直接体験」であると考えます。

そこで、本学園全日制では、幼児部から小学部まで、「直接体験」を中心とする多くの体験活動を実施しています。特に、幼児部年長組から小学部6年生までは、学外での集団宿泊活動をカリキュラムに取り入れ、学習活動を展開しています。

- ◇幼児部年長お泊まり保育（1泊2日）
- ◇小学部1・2年移動教室（1泊2日）
- ◇小学部3・4年移動教室（2泊3日）
- ◇小学部5・6年移動教室（3泊4日）

また、単に子ども達に自由に活動させるだけでなく、子ども達の体験を「学びの過程」の中にきちんと位置付くように指導していくことが大切です。そこで、実践プログラムの計画立案から予約、現地折衝、児童指導までのすべてを担当が担い、コーディネーターの役割もすることで、児童に直接的に働きかけ、より児童の実態に即したダイナミックなプログラム編成をすることができます。全日制の職員一人一人がこうした体験活動に精通し、そのノウハウが引き継がれています。

## 集団宿泊活動で育てる力

### 力の基盤となる体験

「百聞は一見にしかず」「体験なくして学びなし」と言われるように、思考や知性が、単に知識を得ればよいのではなく、実際の体験に基づいて理解され、さらに次なる活動の中で活用・応用される中でこそ、意味を持ちます。こうした「直接体験」の機会が豊かであるほど、思考力や活用力、応用力が育成される機会が増え、より充実した学びにつながると考えられます。実際に活動しながら学習活動を展開できれば、子ども達は様々な知識

を具体的な体験に基づいて理解することができます。

### 体験に裏打ちされた「生きた学習」

学校の教室で行われる体験的な授業と校外で行う体験活動を伴った教科等の学習活動では、体験の質に大きな違いがあります。集団宿泊活動で教科等の学習活動を取り入れると、実体験を伴う学習が成立し、体験に裏打ちされた生きた学習の場となります。例えば、集団宿泊活動中の出来事を、取材ノートにメモをとったり、日記に記録したりすることで、宿泊活動を国語科の紀行作文を書く学習と関連させて指導することも可能です。

### 体験活動と言語活動

体験活動で学んだことは、整理し、その意味を考察することが大切です。体験は一度ですが、繰り返し時間をかけて、体験の全体を振り返り、意味を考えることを通して、体験活動の価値はより高いものになっていきます。自分なりに整理し、感じたことを文章にすることにより意味を考え、そして発表します。体験を通じた学習は、知識の定着につながるるとともに、言語活動を促進することにつながります。海外子女文芸作品コンクールでの学校賞受賞は、この成果であります。

### 豊かな心を育む

日常の学校生活や家庭生活から離れて、友達や教師と寝食を共にする活動を通して、学校の教室の中では体験できないようなことを直接体験したり、雄大な自然や本物の教材を目の前にしたりして学習することができます。



家庭を離れ、学級の友達と教師とでの宿泊活動では、一人の友達のことを、自分達の学級全体のこととして、一人ひとりが考えて生活することになります。学級の仲間のことを思いやり、相手の立場に立って考えることができる優しさ。現状から問題点を自覚し、解決するための方法について話し合うことのできる問題解決力と行動を起こす実践力。このような、児童が育つ集団宿泊活動は、日々の学習を定着・深化・発展させる非常に有効な教育活動です。また、友達と一緒に生活することで協力し合うこともあれば、気を遣って我慢しなければならないこともあり、協調性や忍耐力が養われます。

## 小学部5・6年移動教室

＊日 程 3泊4日

＊行き先 ワシントンD.C. 方面とフェアヘブ

ン・プリマス方面を隔年で実施  
5年生と6年生を対象の宿泊活動では小学

生には長期となる3泊4日の日程で実施され

ています。この高学年の移動教室では、隔年で行き先を変え、日本とアメリカの歴史と文化の交わりを学習します。

○日本とアメリカの二つの文化の中で育ち、夢に向かって努力する先輩に学ぶ。

○激動の江戸時代末期に日本とアメリカの架け橋となったジョン万次郎の軌跡を知る。

○自由を求めアメリカへ渡ってきたピルグリムの人々の思いとネイティブアメリカンの暮らし。様々な経緯や変遷を経て、現在にたどり着いたアメリカの歴史について学ぶ。

これらのことを2年間で深く考える時間となっています。

### 先輩に学ぶ

#### ～夢や希望、憧れる自己イメージの獲得～

キャリア教育は、小学生から成人に至るまで、各々の段階で進路・職業を選択し、その後の社会生活に適応し、自己実現できるようにするための資質能力の形成を支援する総合的な教育活動を意味します。本学園では、保育教育活動全体を通してキャリア教育を意識し、その資質能力を小さい頃から身につけていくようにしています。

その特徴的な活動が、5・6年生移動教室の「先輩訪問」です。2016年には、本学園全日制元児童会会長であり、在籍する Boston College を訪問しました。そして、2017年には、George Washington University を訪問しました。先輩に大学構内を案内してもらい、真剣なまなざしで、先輩の言葉一つひとつに傾く子どもの姿が見られました。日本語の環境で小学生時代を過ごし、現地校を経て、現在はアメリカの大学で学んでいる先輩の言葉が、子ども達の心に強く響いたことを感じさせました。6年生のある児童は、「好きなことを見つけ、それを追究することが夢を実現させる原動力になるという先輩の言葉に勇気をもらいました。」と語っていました。先輩の姿に直接触れる直接体験によって、将来の自分の姿を具体的にイメージするきっかけとなっています。



将来、世界のリーダーとして活躍する子ども達にとってこの移動教室は大きな刺激となっています。

### 【次号予告】

次号以降、他の学年の宿泊体験学習について紹介をしていきます。

お問い合わせ／NJ キャンパス全日制幼児部主任：赤島 恭子・全日制小学部主任：川添 太久真

## 卒園児童生徒の保護者様（2013年度退園の野崎敏久さんのお父様）より



「きりんのへや」から小学2年生までお世話になりました。2014年3月に帰国し、4年経ちました。敏久はおかげ様でこの3月に小学校を卒業し、4月からは私立の中高一貫校の攻玉社中学に進むことになりました。

経験してわかったことですが、中学入試は大学入試とは異なり、受験テクニックではなく、基礎力が重要でした。進学塾にも通いましたが、それも幼少期のしっかりとした日本語教育があつてこそ、と改めて思いました。

ニューヨーク育英学園でしっかり学び遊んだ4年間で礎となったと思います。本当にありがとうございました。また、育英学園のカリキュラムが東京の私立中学の入試に直結するとは申しませんが、幼児部・小学部の教育プログラムは日本語の習得はもちろんのこととして、各教科の内容も高い水準だったと思います。ご苦労は多いとは思いますが、今後も維持・拡充されることを祈念します。

今年の夏には東京で同窓会開催予定の由、岡本学園長先生をはじめご関係の皆様、また同級生の家族の方との再会の機会として楽しみにしています。

最後になりましたが、ニューヨーク育英学園の益々の発展と、学園ご関係の皆様のご健勝を祈念します。

2018年3月

私が子ども達に教える時、心掛けていることがあります。

90年代半ば、日本からニューヨークに来てまだほんの数日しか経っていない頃でした。私はギターとジャズ演奏を学ぶ為に渡米し、入学した the Mannes College of Music で最初のクラスを迎えました。それは私たちギター奏者が一人ずつ、クラスの為に用意されたベース奏者とドラム奏者と一緒に演奏をする Guitar Trio Ensemble という授業でした。二人の講師が一人ひとりの演奏に対してアドバイスをしてくれます。私の番が来ました。無難に演奏を終えたつもりでしたが、妙な沈黙の後、講師の一人であり後の私の演奏に大きな影響を与えることになるギタリストの Peter Bernstein 氏がゆっくりと口を開きました。「君の演奏は良かったよ。でもドラマーと会話をしていなかったね。」ジャズの演奏では、ソロを演奏するソロイストがドラム奏者などと即興で数小節ずつ互いに代わり替わりソロをとり合う「Trading」と呼ばれる間奏がよく行われます。私の行った trades に対する彼の言葉は、「相手はリズムを使って自己表現をするドラムなんだから、何かもっとリズムを強調したフレーズを弾いて音楽的な会話をしなければいけないよ。」？？！「そんなことはとても上達した演奏者だけができることだと思うのですが。。」そんな私の意見に対する Bernstein 氏の次のフレーズが衝撃的でした。

「ぼくはそうは思わない。そういうことは、ジャズを演奏するなら一番最初に覚えなければいけない基本的なことだと思う。」

目から鱗が落ちるとはこういうことなのでしょう。一番難しいと思っていたことが、実は一番最初に学ぶべきことである。言葉の代わりに楽器を使って音楽的な会話をするのがジャズなんだ。常に難しいフレーズを弾かなくて、簡単なフレーズだけでも会話はできる、普段の私たちの会話が簡単な言葉だけでも成立するように。そんな難しいことはもっと上手くなってから学べばいい、そう決まっていたのは自分自身なんだ。私と同年である Bernstein 氏、そしてアメリカ人がアメリカで生まれたこの音楽をどのように学び、受け継ぎ、表現しようとしているのか。そしてその伝統を持ち合わせていない日本人である私がいかに幼いか。さらに私自身がこれから先、ジャズをどのように学んでいくべきなのか。たくさんのことを考えさせられる貴重な出来事となりました。

以来、私が育英学園で理科を教える時、またギターを教える時、どんな時でもあの時のことが頭に浮かびます。環境問題、エネルギー問題、宇宙資源、人口知能、バーチャルウォーター、、、これからの子ども達はたくさん問題と向き合い、解決していかなければいけません。そんな難しいことはもっと大きくなってから学べばいい。私はそうは思いま



せん。子どもだからこそ学びの許容範囲を制限せず、今の現状を伝え、何をすべきかを考えさせるチャンスを与えてあげるべきだと思います（もちろん限度はありますが）。きちんと伝えれば、子どもは私たちの想像以上に情報を吸収し考える能力を持っていると感じます。

未来を創る子ども達に種まきをし、そして将来芽が息吹き、花が咲くよう手助けをするのが私たち教師の役割だと思っています。「後になってから学べばいい」ではなく、「今学ぶことの大切さ」、そしてそれが将来に繋がっていくのだということを多くの人に気付いて欲しいと願っています。私があの時その大切さに気付いたように。

記／育英サタデーPW校・育英サンデーNU校専科：古津 剛

～日本全国被災地支援 招待企画 2018

## 第6回アメリカサマー留学

ニューヨーク育英学園では、学園が主催する『育英サマーデイキャンプ』に東北被災地の児童2名を2013年夏、初めて招待しました。あしなが育英会様のご協力により、子ども達は有意義な時間をアメリカで過ごし、たくさんの思い出を作ることができました。翌年以降も継続し、2017年度は、九州地方の被災地も対象に広げ、さらに青少年を対象として本学園サマー宿泊キャンプへボランティアスタッフとして招待いたしました。

2018年度はさらに、日本全国の被災地を対象に広げ、『第6回日本全国被災地支援 招待企画 アメリカサマー留学』を開催する運びとなりました。昨年同様、あしなが育英会より日本での準備サポートなどのご協力を頂いております。本学園では招待する児童・青少年がそれぞれ安心して留学できる環境を整えとともに、楽しく充実した夏を過ごせる様、しっかりとサポートして参ります。

本学園では、震災遺児のアメリカサマー留学支援をしていただける企業、団体、個人の皆様の温かいご協力をお待ちしております。寄付金、航空券支援、NY・NJ観光サポート、美術館やパークの入場チケット、レストランお食事券など、様々な支援のご協力を賜りたく存じます。用途をご指定いただくことも可能です。

ご興味のある方は、是非、ご連絡をください。



ASHINAGA  
あしなが育英会

お問い合わせ先：  
担当 山田 亜香里  
Phone: (201)947-4832 (学園事務局)  
E-mail: invitation.nyikuei@gmail.com

ニューヨーク育英学園では  
日本全国の被災地で被災した  
子ども達を応援しています。



## 2017年度 育英日帰りスキー・宿泊スキーキャンプ終了

NY 育英学園アフタースクール部門では、2017年12月17日から2018年2月22日まで、日帰りと宿泊の全7回のスキーキャンプをキャメルバックリゾートにて開催しました。全7回で小学3年から中学3年生までの参加者は、延べ250名に達しました。

今冬のポコノマウンテンは、12月は寒波襲来のために気温がマイナス20度となったり、年明け1月からは荒天後に一気に春のような気温で時に20度近くになったりしましたが、どんな天候の下でも、子ども達はとても楽しんでスキーレッスンを受け、終わる時間には「まだやりたい、もう一回だけ滑りたい」という声があるなど、とても満足した様子でした。また、自然を知る良い機会ともなりました。悪天候の副産物としては、例年よりもスキー場が空いていたことです。リフトに乗る回数も増えてコース周回も存分にできたことも参加者にとっては吉となりました。



今回の日帰りスキーでは、初心者と初級レベルの低学年児童が9割を占めました。そんな中一人ひとりが驚くほど速く上達し、最初は転んで泣きそうになっていた児童も帰る時にはスマイルを見せるほどでした。中にはほぼ初心者から始め、2月には上級となった児童もいました。

宿泊スキーキャンプでは、スキーはもちろん、レクリエーション（ショートコント・ビンゴなど）、スノーチュービング、ナイタースキーなど盛りだくさんの内容を心ゆくまで楽しんでいた子ども達でした。そのため第1回目の12月キャンプに参加した子の中には、「次の2月のキャンプにも参加したい」という子が多く出たため、参加者が急増しました。きっと次のシーズンも参加してくれることだろうと期待しています。

キャンプでは日本語を使った指導や毎日3食日本の食事を友人と賑やかに味わえることも目玉の一つとなっており、食卓は毎食賑やか、子ども達は宿舎内でも新しくできた友人と楽しいひと時を過ごせ、違った意味でも満足したようです。

全日本スキー連盟のスキー1級ライセンスを保持し、指導歴も長いインストラクターの一人は、「何度も参加している子どもの伸びが本当に凄い。沢山教えてきたけど大人だと



こうはいかない。今後続けることでもっと上手になる」と、参加した子ども達の上達ぶりを絶賛していました。

NY 育英学園では毎年9月下旬より日帰りスキー・宿泊スキーキャンプ参加者の募集を開始します。スキーグッズのレンタルサービスや学園スクールバスによる送迎サービスもありますので、合わせてご利用ください。

次年度の育英スキーへのお申し込みお待ちしております。



### 【2018年度スキー説明会&受付】

9月8日(土) ニュージャーニョンバス、フレンズアカデミー(マンハッタン)  
9月15日(土) サタデースクールM校、PW校  
9月15日(土) 内部優先受付開始  
9月24日(月) 一般申込受付開始

皆様のご参加・お申し込みお待ちしております。

お問い合わせ/NJキャンパスアフタースクール・クラブディレクター：加藤 義隆



### 最初は日本語が出てこなかった

「NY 育英学園との出会いはいつでしたか？」

母：サタデーNJ校の年中組です。3歳の頃は1年間近所のデイケアに行ったので、すっかり英語が強くなって、日本語が伸び悩んでいました。そこでまずサタデーに入れたのですが、週1回ではやっぱりあまり伸びなくて、全日制で毎日日本語のシャワーを浴びたほうが良いと先生の勧めもあって、次の学期から全日制に通わせることにしました。

「全日制の年中組に移ってみてどうでしたか？」

ジュリアン：最初の3カ月ぐらいは、自分からあまり話しかけられなくて、友達もあまりできずに、隅っこで一人で遊んでいました。

母：最初の3カ月は日本語をいろいろと聞いて蓄積する時期だったのだと思います。でも少しずつ日本語が出てくるようになって、歌も好きだったので、日本の歌を歌いながら、日本語に慣れていったようです。

ジュリアン：バイリンガルの友達と英語で話したいこともありましたが、できるだけ日本語で話そうと一緒に頑張りました。

母：今は幼児部も毎日の英語の時間ができて、毎日日本語と英語の両方のシャワーを浴びながら、日本語が強い子も英語が強い子も、お互いから学べる環境になってきているのはいいことだと思います。

### 友達と一緒に日本語も英語も頑張った

「ジュリアン君が1年生になった時は、金曜英語の日が始まって2年目の年でした。」



ジュリアン：得意の英語を使って一日過ごせるのは、正直言って開放感がありました。

母：会話は得意だったようですが、読み書きは苦手で、4年生になるまでは英語が伸び悩んでいたようです。

### 「途中、現地校に移ろうかと悩みましたか？」

ジュリアン：僕は育英が好きで育英を卒業したかったので、全然そうは思いませんでした。

母：ただ、周りの永住組の子ども達や、育英の英語カリキュラムで英語に自信を付けた子ども達がどんどん現地校に転校していったので、すごく不安はありました。

ジュリアン：アメリカ人の先生たちから、「このまま育英で頑張っていれば卒業してから現地校に移っても大丈夫。」と言われ、安心して楽しく勉強が続けられました。

母：アメリカで生まれ育った主人に、「英語はいつでもキャッチアップできるから。」と、卒業まで育英に行かせることを理解してもらったことも大きかったと思います。



### バイリンガル児は遅咲きの花！？

「高学年になって、身長と共にいろんな才能が伸びてきたようです。」

母：日本語も英語も4年生を過ぎた頃から急に伸びたようです。(ジュリアン君に向かって) どうして急にできるようになったの？

ジュリアン：僕もわからない(笑)。他にも急にできるようになったことが色々あります。

母：バイリンガル児は1カ国だけをしゃべる子どもに比べると言葉の発達が少し遅いと言われますが、うちは英語、日本語、そしてタイ語が飛び交う家庭だったので、さらにもう一步遅かったのかもしれませんが。ですが、蓄積期間が長かった分一気に花が咲き出したのでしょうか(笑)。

### クロスメソッドの効果

「育英で英語の最上級クラスにいたJulien君。

卒業後すぐに現地校に編入されました。」

母：1年ぐらい学習進度が遅れているんじゃないかとすごく心配したんですが、全然そんなことはないようで、驚いています。

ジュリアン：『君はESLクラスを取る必要は全然ないよ』と言われ、普通に勉強しています。新しく覚えることはいろいろありますが、育英に卒業までいたことがハンデになっていると感じることは全くありません。

母：週に1回とかではなく、日本語と英語を毎日勉強しつつ、金曜英語の日にじっくり英語を使っているんなことを学習できたのが、本当によかったのだと思います。

### 今はフランス語の勉強に夢中

「今、興味があることは何ですか？」

ジュリアン：フランス語の勉強です。

「エッ！ちょっと話してもらえますか？」

ジュリアン：'Bonjour je m'appelle Julien...'

母：育英で英語と日本語という全然違う言語を勉強して、言語習得のベースができていたので、フランス語の覚えも早いようです。育英でマルチリンガルになる基礎ができたとも言えるかもしれません。

### 育英にいるチャンスを逃さないで！

「全日制に通う後輩たちへのメッセージを！」

ジュリアン：育英では、いろんな体験ができたし、先生たちや友だちがみんな優しく、家族のように見守ってくれて、本当に幸せでした。それは卒業して学校を離れてみて改めて実感できたことです。育英に通うみんなには、育英に通えるというチャンスを逃さないで、日々を大切にしてください。欲しいと思います。





## フレンズアカデミー アフタークラス

フレンズアカデミーは、末長く日本語での学習ができる学校を理想として、幼児だけでなく、中・高校生、大人を対象にした様々な教室を開講してきました。そして、アメリカの学校へ通いながら父親や母親の言葉である日本語を習得したい、日本の文化を身につけたい子ども達が集っています。2015年にアップーウェストに移転してからは、日本語を母語としない近隣の住人へも門戸を開き、言語をはじめとする日本文化を伝える場所として、その活動を広げています。

### 日本語・国語学習を無理なく長く続けよう！

#### ＜いろは「日本語基礎教室」＞

対象：3歳～未就学児  
曜日：火、水、木曜日  
時間：3：30～5：30  
「心を動かす体験を通して言葉を定着させること」をモットーに、楽しく心に残る活動をしています。子ども達は毎週新しい言葉、言い回しを覚えて、小学生向けの国語教室に入る準備をします。クラスでは自由な活動、挨拶、自己紹介、歌、手遊び、ダンスなどの活動した後、日本の伝統的な行事、季節に関わる活動を行います。

#### ＜いろは「国語教室」＞

対象：小学生以上  
曜日：火、水、木、金曜日  
時間：4：00～6：00  
曜日別に、初級（小学1、2年生程度）、中級（小学3、4年生程度）、上級（小学5年以上）のクラスが開かれています。学習内容は、日常会話に必要な語彙を取り入れた会話の練習の後、詩、説明文、物語などを織り交ぜて読解学習をしていきます。また、音読活動にも力を入れています。

### 日本の学校と同じテンポで学習しよう！

#### ＜国語算数教室＞

対象：小学生  
曜日：月曜日～小4、小6  
火曜日～小3  
水曜日～小2  
木曜日～小1、小5  
時間：4：00～7：00  
日本の検定教科書を使い、国語と算数の学習を行います。教科書の単元を精選して深く学習できるように配慮しています。サタデースクールやサンデースクールのウェイティングの方にも活用していただけます。

#### ＜中学数学教室＞

対象：中学生以上  
曜日：木曜日  
時間：中1～15：00～16：30  
中2～16：30～18：00  
中3～18：00～19：30  
日本の中学校同様、検定教科書を使用して学習します。そのため、希望学年までの学習内容を習得していることが必須です。

#### ＜高校国語教室＞

対象：高校生以上  
曜日：木曜日  
時間：中1～15：00～16：30  
中2～16：30～18：00  
中3～18：00～19：30  
日本の検定教科書を使用して現代文、古典を学習します。日本人として必要な語彙力を身につけるとともに、文章を正しく読み取る力を身につけ自分の考えを的確に表現できるように授業を展開していきます。希望学年前までの学習を修了していることが必須です。

### 楽しい！ クラブ活動

#### ＜うんどうクラブ＞

対象：3歳～5歳  
曜日：火曜日  
時間：15：00～15：45  
明るく元気な体育専門教師による運動クラブ。年間を通して、マット遊び、鉄棒遊び、跳び箱遊び、ボール遊びを行い、基礎的な体の使い方を身につけていきます。毎時間、できるようになった、と満面の笑顔にあふれる楽しい運動クラブです。

#### ＜どれみふぁクラブ＞

対象：3歳から5歳  
曜日：水曜日  
時間：15：00～15：45  
歌う楽しさを子ども達に伝えたいという、プロの音楽家でもある音楽教師の下、毎週、新しい歌を覚えて、歌の世界を広げています。そして習う歌に合わせて楽しく体を動かしたり、タンバリン、鈴、カスタネットでリズム打ちをしたり、楽譜遊びしたりして、音楽の基礎を楽しく身につけていきます。  
**小学生向けの合唱クラブ**の発足も準備中。フレンズの子ども達が大きな舞台の上にとっかかりとって歌う日をめざしています。

#### ＜書道教室＞

対象：4歳～大人  
曜日：木曜日  
時間：15：30～19：00  
数々の受賞歴があり、指導者としての経験豊富な教師陣の指導による充実した教室です。初心者から上級者まで、個々に合わせた指導を行います。子ども達は、美しい字を書くことを学びながらひとつのことに集中する力もつけていきます。

### 楽器を弾こう！

#### ＜音楽教室＞

対象：4歳児～  
曜日：バイオリン―月・木曜日  
ピアノ―月・火・水・金・日曜日  
時間：30分または45分のプライベートレッスン  
現在、2名のピアノ教師と1名のバイオリン教師により指導が行われています。いずれもプロフェッショナルの演奏活動をする傍ら、子ども達や大人の指導に当たっているベテラン教師陣です。指導力の高さが評判を呼び、アメリカ人の子ども達も習いに来ています。ミニコンサートも企画中です。

### 英語検定合格をめざそう！

#### ＜英検1次試験対策講座＞

対象：子ども～大人  
曜日：月・火・水・木・金曜日  
時間：16：30～18：00  
年間3回の英検一次試験前の約2か月間、過去問題を使用して、問題を解くコツ、勉強の仕方、弱点の克服をわかりやすく丁寧に指導します。

#### ＜英検二次試験対策講座＞

対象：子ども～大人  
曜日：月曜日～金曜日  
時間：16：30～18：00  
年3回の英検2時試験前に2回の講座を開きます。ネイティブまたはバイリンガルの教師の指導で合格を目指します。

#### ＜英検模試講座＞

日時：英検便りをごらんください。  
実施級：5級から1級まで  
過去問題を使って、本番と同じように模試を行い、終了後、採点をして簡単な解説を行います。

＊英語を上達させたい子ども達のために、**プライベート、セミプライベートチュータリング**も行っています。

### 日本語・日本文化を発信しよう！

#### ＜Origami Workshop＞

#### ＜Shodo Workshop＞

対象：3歳以上  
日時：日曜日午後  
ニューヨーク近郊に住む、日本語を母国語としない方々に、折り紙や書道の楽しさを伝えます。そして、それらを通して日本文化に興味を持っていただければと願っています。

# NY 育英学園全部門「運動会」

### NJキャンパス全日制・育英サタデーNJ校（小中学部）合同大運動会



児童・生徒、保護者の総勢700名以上が屋外全天候型スタジアムに集う春の合同大運動会です。全員で行うラジオ体操、徒競走、二人三脚、玉入れ、綱引きと、日本の運動会ならではの競技を紅白に分かれて競い合います。中でもひと際目を引くのが伝統の応援合戦です。全日制部門小学部紅白の団長を中心に、この日のために休み時間も返上して練習を重ねた成果を披露、和太鼓の合図で広々としたスタジアムを所狭しと駆け巡り、応援団長のひと際大きな掛け声が会場に響き渡ります。更に、ダンスクラブによる華やかな演技に会場が一体となって盛り上がります。圧巻なのは最後のリレーです。小学校1年生から6年生まで全員が一つのバトンを懸命に繋いでいく姿に会場にいる全員が感動します。そして最後は中学部が迫力ある走りを見せてくれます。

2018年度は5月12日（土曜）で、オープンハウスです。ぜひお越しください。

### 育英サタデー ポートワシントン校

毎年9月、爽やかな秋晴れのもと、『秋の大運動会』を行います。ボランティアの保護者や卒業生の協力で作上げた競技会場に、幼児部から高等部まで、約200名の子ども達が待ちきれない様子で集まります。音楽部の元気な歌声に合わせた入場行進に始まり、ダンス、徒競走、大王運び、二人三脚、綱引き、リレーなど、運動会ならではの種目で競い合います。放送をはじめ、音響、道具運び、得点計算など運営の大部分が高等部や中学部の生徒によって行われ、昨年度担当した仕事内容を後輩に申し送る様子など、同校の誇るべき伝統となっています。小学部児童は、上級生の活躍を見て、「中学生になったら放送係になりたい。用具係をやりたい。」など、楽しみにしている様子です。  
2018年度は、9月15日（土曜）です。当日は外部の皆様もご観覧いただけるオープンハウスとなっております。皆様の参加をお待ちしています。



### フレンズアカデミー（マンハッタン）



今年度は2018年5月20日（日曜）に近隣のエドワード・レイノルズ・ウェストサイドハイスクールの体育館を1日借り切り、フレンズアカデミーの全部門合同（週日クラス・アフタークラス・ウィークエンドスクール）大運動会を開催します。

昨年度は園児・児童・保護者の参加総数が200人以上にも上り、とても賑やかな1日となりました。今年も汗と涙、力のぶつかり合いの中、どんなドラマが生まれるのか今から楽しみです。生まれて初めての運動会に参加する子がたくさんいるなど、参加者の顔ぶれは様々です。そうした中で、ダンス、かけっこ、玉入れ、リレーなど、日本の運動会ならではの競技に行われます。全競技の最後には全園児児童が参加するリレーがあります。毎年、手に汗を握る白熱したレース展開に会場のボルテージは最高潮に達します。どうぞご期待下さい。

※オープンハウスではありませんので、外部の方はご覧いただけません。

### 育英サタデー マンハッタン校



マンハッタン校は毎年6月に幼児部（午前中）、小中学部合同（午後）に全天候型の広々とした体育室で運動会を実施しています。幼児部は練習を積んだ可愛らしいダンスや親子競技を取り入れ、昨年度からは入園入学をお待ちいただいているウェイティングの皆様も一緒に楽しんで頂いております。小中学部は、恒例のダンスクラブによる華やかなパフォーマンスを皮切りに、迫力ある短距離走やリレー、障害物競走など、発達段階に応じて見応えのある内容となっております。全学部で行われている伝統競技「パン食い競争」はマンハッタン校ならではの、簡単そうに見えて技術を要する白熱した戦いに観客も大盛り上がりです。

2018年度は、6月2日（土曜）です。幼児部運動会にはウェイティングの皆様もご招待いたしますので、ご希望の皆様はどうぞお越しください。お待ちしております。

### NJキャンパス運動場を使用する運動会

NJキャンパスが誇る、青々とした芝生の運動場では春と秋に分けて様々な部門が運動会を実施しています。以下のすべてはオープンハウスとなっております。ご参加いただける種目があるものと無いものがありますが、どなたでもご観覧いただけます。

（6月）育英サタデーNJ校幼児部  
きりんのへやこども園

（9月）NJキャンパス全日制幼児部  
サンデー&アフター合同運動会

育英サタデーNJ校幼児部運動会は、年中児のはな組と年長児のそら組のみならず、保護者の皆様ものびのびと競技に参加して楽しめます。

お子様と保護者がお互いに表情まで見える程の距離感で応援できるのも魅力です。特に「全園児リレー」は、誰もが大喜びする競技です。保護者競技や未就園児競技もあり、オープンハウスにもなっておりますので、一般の方の競技もご用意しております。今年は6月2日（土曜）です。ぜひ皆で楽しみましょう。

NJキャンパス全日制幼児部「秋の大運動会」では、毎年テーマを決めて取り組みます。

昨年のテーマは「PROMISE～つなごう！約束のバトン～」。

開会式では毎年、年長組が趣向を凝らして、オープニングセレモニーを華やかに飾り、年少組、年中組が元気に入場します。そして年長組の選手宣誓を聞き、全園児競技かけっこから始まります。毎年恒例になっている年長組の組体操、綱引きや年中組年長組合同リレーなど盛り上がります。2018年度は9月16日（日曜）で、オープンハウスです。さて今年のテーマは何になるのでしょうか。お楽しみに。

サンデー&アフター合同運動会は、保護者が参加できる競技が多く、児童も保護者も一緒に楽しむことができます。双方の抜群の一体感が魅力です。今年は9月23日（日曜）です。

きりんのへやこども園運動会は、『運動会ごっこ』と称して実施しています。小さな子ども達が人生初めての運動会を家族と一緒に楽しめます。可愛らしさについつい笑みがこぼれます。今年は6月10日（日曜）、オープンハウスです。



# りんごラーニングセンター きりんのへやこども園

ニューヨーク育英学園にきりんのへやこども園が誕生してから、13年が経ちました。最初は学園園舎内に小さなクラスを1部屋設けてスタートしたのが始まります。現在は、そのニューヨーク育英学園園舎から徒歩5分のFort Leeに広々とした保育室とプレイルーム、砂場や菜園もあるアウトドア・プレイエリア、そして親子クラスの施設や、英語や日本語を学ぶ語学部門も併設した広々とした施設を設けています。毎日、小さな子ども達の大きなかわいい笑い声がこだましています。



## 5つの特徴

働きながら子育てするファミリーを支援する事をモットーに、日本語による長時間保育がきりんのへやこども園の一番の柱です。その柱を中心とした、5つの特徴を紹介します。

### ①日本語による保育

2歳から4歳ごろの時期は、成長の過程で母国語を形成する一番大切な時期です。この時期にたっぷりと日本語のシャワーを浴びて生活のリズムを作ることは、言葉のみならず気持ちの安定にもつながります。きりんのへやこども園では、約千冊に及ぶ豊富な量の紙芝居や、棚に入りきれないほどの絵本の蔵書があり、それらの読み聞かせを毎日毎日ふんだんに取り入れています。また、日本の歌、わらべうた、手遊び歌なども朝の会でたくさん用いています。

### ②フレキシブルな長時間保育

保護者の方のご要望にできる限りお応えできるように、朝8時半の早朝保育かと、夕方は5時半までの延長保育を設けています。また、ドア・ツー・ドアのスクールバス通園や給食制も選択する事も可能となっています。

### ③多彩なプログラム

2歳半や3歳から始める子ども達は、まず、初めて、家ではない園での、そして友達と一緒に過ごすための生活習慣を身に着けることから始まります。登園時の身支度、排せつ習慣、片付け、並んでの活動、順番があること、飲食を友達とする、午睡、降園時の身支度などなど、沢山の初めての経験して、身に着けていくことが大きな目標です。その目標を達成するための毎日の色々な経験材料として、五感をいっぱい使った多彩なプログラムを用意しています。保育室で行う折り紙

ダンス、音楽、アート、運動遊び、英語遊び、ひながな遊び・かず遊び等があります。また、戸外では、おさんぽ、泥んこ遊び、シャボン玉、水遊び、雪遊び、菜園での種蒔き、水やり、収穫など、季節と自然の遊びを戸外でも多く取り入れています。

### ④日本の文化、伝統行事

海外に居るからこそ、沢山触れさせたい日本の伝統行事もふんだんに取り入れています。正月、餅つき、凧揚げ、書き初め、節分、雛祭り、お花見、子どもの日、運動会、七夕などなど行事に沿って製作をしたり、体験をしたりと楽しめます。

### ⑤アットホームな環境

初めての集団生活になる子ども達の年齢や個性に合わせ、細やかに対応しながら、トイレトレーニングや食事などの、集団生活においての基本的生活習慣を育てます。経験豊かな保育士たちが、お母さん、お父さんの代わりとなって、このこども園で子ども達の成長を応援します。

## 広々としたプレイルーム

プレイルームには、子ども達が大好きなピラミッド型クッション滑り台、土管型の遊具、カラフルなマットや、椅子や台にもなる箱、大型ブロックやジャンピングボールなどの大型遊具が沢山設置されています。ピラミッドクッションを使って転げ落ちてみたり、



部屋をいっぱい使って、走り回ったり、大型ブロックを積んでお城を作ったり、大人気の場所です。体で音を表現するリトミックの時間や、体育の時間、お楽しみ会等も、このプレイルームで行われます。

## アウトドア・プレイエリア

太陽がたっぷりと降り注ぐきりんのへやのアウトドア・プレイエリアでは、毎春に、プランターを利用して、菜園作りに取り組んでいます。土に指で穴をあけて種を蒔き、上からポンポン！と土を均して最後に水やり。



『なにがでてくるのかな？』『おおきくな～れ～！』『たべるの？』と園児達は興味津々です。かわいい芽が出た後は、毎日の水やりです。バケツで水を運んで、小さなジョウロで水やりです。何回も何回も、気に入った苗に水をあげる子もいます。トマト・枝豆・オクラ等を夏の終わりに収穫して、宝物を貰ったかのように抱え、『お母さんにあげるの！』と帰る姿は本当に微笑ましいです。

また、ここには砂場も設置されています。大きな山を作ってトンネルを掘って基地にしたり、砂のお団子作りをしてレストランを開いたり、型抜きをして水族館や動物園を作ったり、子ども達のごっこ遊びに際限はありません。暑い真夏の日中には、砂の中に手を入れて、『ひゃ～つめたい！！うでまでいれちゃお～。きもちいい～！』と体をいっぱい、五感をいっぱい使って楽しむ子ども達の声が裏の大型駐車場までこだましています。

## りんご図書館

毎日の登園・降園で使用する待合室には、活動の様子が良くわかる掲示板と、一生懸命に子ども達が脱着をする上履きや外履きを入れる下駄箱の他に、2000冊近くの日本語の絵本を揃えた、りんご図書館があります。★0・1・2歳児用★年少児用★年中・年長児用★年長・小学生低学年用★月刊の新刊の5つに色分けされ、整理されています。

この図書館の大きな特徴は、子育て真っ最中の保護者の方自らが本を手にとって、読み聞かせをしたい本を選べることです。近隣の日系の幼稚園や施設では、子ども達が選んだ本を借りるのが一般的ですが、りんご図書館では保護者の方が本を吟味して、家に持ち帰ることが出来る様にもしています。

また、日本への本帰国や、他州への引っ越し、ご家庭の書庫を整理される際に、眠っていた絵本を、ぜひこのりんご図書館に寄付させてください！と持参して下さいご家庭が増えています。絵本という素晴らしい財産を、他の子ども達に託されたく集まった、りんご図書館です。

そして、ご寄付のみならず、毎月日本より、赤ちゃんクラスから年長児までの7冊の月刊の新刊を取り寄せています。その蔵書量は、今では、2000冊以上を超え、こちらも根強い人気のコーナーとなっています。



お問い合わせ／りんごラーニングセンターディレクター：半場 綾子

## ニュージャージーキャンパス アフタースクール・クラブ・ワークショップ

### 平日夕方！アフター幼稚園

子どもを現地校に通わせながら、「日本語をもっと学ばせたい」、「日本語での活動や学習の場を深めさせたい」という要望をお持ちの方や、「幼児期だからこそ大切な日本語を学ばせたい」、「母国語である日本語を大切にしていきたい」とお考えの方も多いのではないのでしょうか。



そんな声にお応えして、NY育英学園NJキャンパスではアフタースクールプログラムとして平日の午後に「幼児の教室」を開設しております。最初はお互いを知らない園児も、音楽や工作、時には運動を通してすぐに仲良くなります。



〈対象〉年少～年長の幼児（日本式年齢）  
〈入園資格〉年齢相応の発達段階にあり、日本語による指示が理解できる。  
〈内容〉日本語による遊び、製作活動、紙芝居、絵本の読み聞かせや日本の歌などを取り入れ、縦割りクラスの保育を行います。  
〈クラス〉①火曜 ②木曜 ③金曜  
※週1回と週2回を選択できます。

| 〈1日の流れ〉   |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| 時間        | 内容                                 |
| 3:15～3:30 | 登園(ドライブスルー)                        |
| 3:30～3:45 | お絵かき、カルタ等自由な遊び、裏庭遊び                |
| 3:45～5:05 | リズム体操、絵本の読み聞かせ、絵画制作、音楽、リズム、ゲーム等の活動 |
| 5:05～5:15 | おやつ時間                              |
| 5:15～5:30 | ことば遊び、歌、紙芝居の読み聞かせ                  |
| 5:30～5:40 | 降園(ドライブスルー)                        |

### 平日夕方に日本語小学校補習校！

#### 週末は家族団らんや習い事



育英アフタースクールNJ校「小学生の国語・算数教室」は、現地校に通うお子様を持ちて英語とともに日本語での学習を続けさせたい、でも、週末は家族でゆっくり過ごしたい、と思われている方々にぴったりのプログラムです。楽しく学び、そしてしっかりと学習の基礎を身につけていきます。授業は現地校が終わってからでも通える時間帯です。し、教科書や副教材を使いながら、一つひとつの学習事項をしっかりとおさえていきます。また、クラス児童が大勢では発言発表の機会も少なくなりますが、このクラスは定員12名の少人数制なので、一人ひとりの発言発表を重視した授業が進められています。さらに、日本の学校行事には欠かせない運動会も育英サンデースクールNJ校と合同で行っています。

〈対象〉小学1年生～6年生（日本式年齢）  
※対象年齢は2018年4月からとなります。  
〈入学資格〉年齢相応の日本語力があり、一斉授業の中で学習できること。  
※入学に当たり、試験（国語・算数）があります。  
〈内容〉国語の授業を中心算数を加えた2教科です。  
〈定員〉各学年12名（3名以上で開講）  
〈授業数〉各学年年間39回  
〈スケジュール〉※2018年4月から  
火曜：1・4年生  
木曜：3・6年生  
金曜：2・5年生

|      | 時間帯         | 内容           |
|------|-------------|--------------|
| 登校   | 3:50 - 4:00 | ドライブスルー      |
| 1時間目 | 4:00 - 4:45 | 国語（漢字、文法中心）  |
| 2時間目 | 4:45 - 5:30 | 国語（読解、音読を中心） |
| 休憩   | 5:30 -      | スナックタイム      |
| 3時間目 | 5:40 - 6:20 | 国語（作文、発表を中心） |
| 4時間目 | 6:20 - 7:05 | 算数           |
| 下校   | 7:05 - 7:15 | ドライブスルー      |

### アフタークラブ・ワークショップ紹介

（全日制アフタークラブ「幼稚園・小学生対象」）



#### ダブルダッチ（幼・小）

2本のロープを交互に回して跳ぶスポーツです。持久力、リズム感、そしてチームワークも自然に身につきます。世界優勝経験のある講師が指導いたします。

#### キッカーズ/コロコロ（幼）サッカー（小）

基礎的なテクニックやルールを中心に学び、サッカーの楽しさを十分に味わいながら、楽しく活動します。コロコロはボールを使った運動を中心に活動を行います。

#### ダンス（幼・小）

リズム遊びなどを通して楽しくダンスをしたり、振り付けて幼稚園のダンスとは一味違った“クール”なダンスを習います。

#### 水泳（幼・小）

水に慣れることから始め、ビート板や水泳遊具を使ってパタ足の練習をします。パタ足が安定し始めたらストローク練習に入ります。初心者には足元にプラットフォームを設置して安全に指導します。小学生は日本の授業で習う泳法の指導をします。＊外部プールを使用

#### びよんびよん（幼）

幼児向けの器械体操クラブです。でんぐり返しなどの簡単なマット運動や側転やブリッジなどの高度な技、鉄棒、跳び箱、柔軟体操などの活動を行います。

#### 器械体操（小）

基本的なマット運動や、跳び箱、鉄棒などを使って活動を行います。基礎的な筋力バランスを築くには最適のクラブです。

#### 野球（小）

キャッチボール、守備、打撃練習を基礎に、楽しく野球を習います。総合的な運動能力を高めるために様々なスポーツを取り入れたトレーニングも行います。

#### ボードゲーム（小）

チェスやオセロなどのボードゲームを英語の先生と行います。様々なゲームに挑戦することで、集中力・計算力向上はもちろん、英語の先生と一緒になので、語学力の向上も期待できます。

お問い合わせ/NJキャンパスアフタースクール・クラブディレクター：加藤 義隆

